【 C 家族支援 】　1．早期発見・早期支援　共通分野

発達障害のある子どもへの早期からの支援の充実および保護者への支援を充実させる視点から、早期の気づきと早期支援の重要性について理解する。また、発達障害の疑いがある場合に、その保護者に対して適切な支援や情報提供を行うために必要な知識を学ぶ。
◆主な内容◆ ・早期発見・早期支援の意義 ・乳幼児健診におけるスクリーニング ・早期の相談と対応 ・自治体による発達支援
◆研修講座名（例）◆ **「発達障害の早期発見と早期支援」　（講義・演習 90 分）** 〇発達障害支援における早期発見・早期支援の重要性（講義 45 分） ・1 歳 6 ヶ月児健診や３歳児健診におけるスクリーニングの意義、発達障害特有のアセスメントツールについて解説する。 ・発達障害の疑いがある場合に、その保護者に対して適切な支援や情報提供を行うために必要な知識や姿勢について解説する。 ・母子保健医療分野で推進されている対策等の概要と重要性について解説する（子育て世代包括支援センターや子どもの心の診療ネットワーク事業、健やか親子２１（第二次）など）。 〇地域における発達支援体制の充実（演習 45 分） ・地域における社会資源の役割等（障害福祉分野のみに限定せず）について理解を促し、発見から支援につなぐ仕組みの充実に向けて必要な取組について、意見交換を通して考える場を設ける。 ・妊娠期からの支援や情報の共有化など、地域における切れ目のない支援の実現のために必要な取組について、意見交換を通して考える場を設ける。
◆到達指標◆（教育関係者・福祉関係者共通） 初級：早期発見・早期支援の重要性や取組について説明できる。 中級：早期発見・早期支援の重要性や取組を踏まえ、関係機関と情報を共有し、その情報に基づいた適切な支援ができる。 上級：早期発見・早期支援の重要性や取組について説明でき、地域における課題を分析し、必要な取組について提案できる。

参考資料　23，24，25，44，53，99，115，122